



JCRC

カジノ管理委員会

Recruiting Guide 2025

2025年度採用案内

君のエネルギーが、  
未来を動かす。



## TOP MESSAGE

IR（統合型リゾート）は、我が国の観光立国実現のために取り組むべき重要な施策の一つです。

カジノ管理委員会は、このIRを支えるカジノへの厳格な規制により、その健全な運営を確保し、国民の信頼に応えることを組織理念としています。

現在、日本においてIR施設やカジノはまだ開業には至っておりませんが、その設立に向けた準備は着実に進んでおり、カジノ事業免許の審査など本格的なカジノ規制の執行が迫っております。

私たちは、世界最高水準の規制を実現するため、海外当局の知見や事業者の動向に広く目を配り、専門性を高め、前例のない各種課題に全力で取り組んでいきます。

そのためには、新たに加わる皆さんを始めとした職員の力の結集が必要であり、自分たちが検討して創り上げた仕組みが我が国の新たな制度となる醍醐味を皆さんも感じることができるはずです。

私たちとともに多様性を活かしたチームワークを築き、互いに「思いやり、支えあい、高めあい」ながら、この挑戦しがいのある行政分野にチャレンジしてくれる皆さんをお待ちしています。

カジノ管理委員会委員長

佐藤 隆文

## PHILOSOPHY

IRを支えるカジノへの厳格な規制により  
その健全な運営を確保し、国民の信頼に応える。

規律と廉潔性を保ち、公正かつ誠実に職務を遂行する。

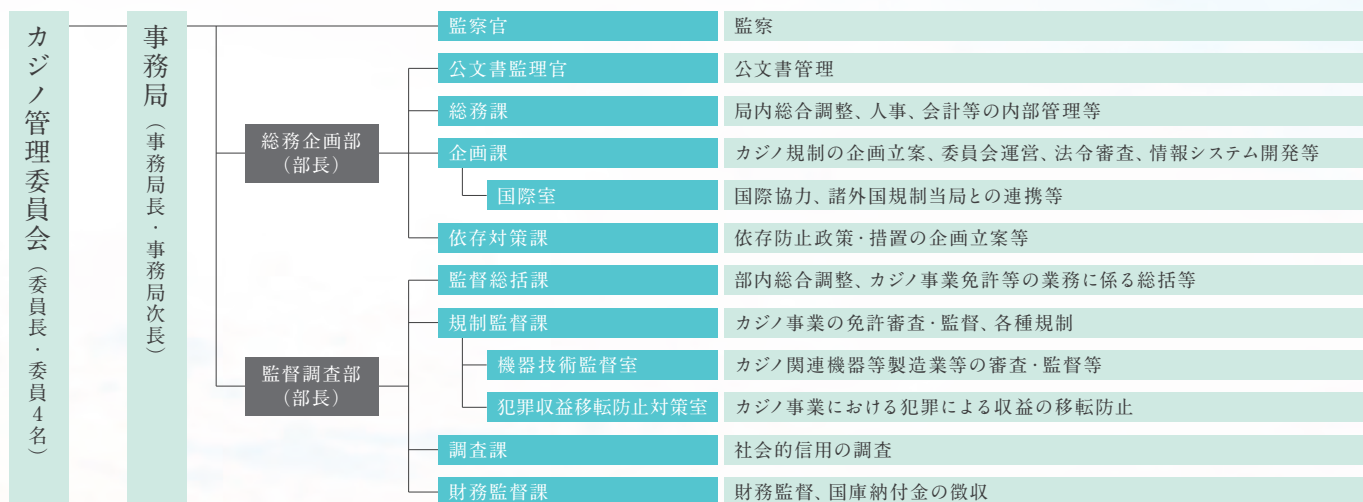
多様性を活かしたチームワーク。  
思いやり、支えあい、高めあう。

カジノ管理委員会は、この組織理念の下でその責務を果たしてまいります。

# CONTENTS

委員長からのメッセージ	2
カジノ管理委員会の組織理念	2
カジノ管理委員会の組織図	3
カジノ管理委員会の使命	4
カジノ管理委員会の業務	5
1. カジノ規制の企画立案（企画課）	5
海外規制当局との連携（国際室）	5
2. 依存防止対策（依存対策課）	5
3. カジノ事業の免許審査（規制監督課）	6
機器技術監督（機器技術監督室）	6
犯罪収益移転防止対策（犯罪収益移転防止対策室）	7
4. 社会的信用の調査（調査課）	7
5. 財務監督（財務監督課）	7
先輩職員からのメッセージ	8
若手職員の1日	10
内定者に聞く	11
若手職員アンケート	12
長期海外出張中職員からのメッセージ	14
研修制度	14
ワークライフバランス	14
採用担当メッセージ / 組織概要 / 問い合わせ先	15

# ORGANIZATION



※令和7年2月現在

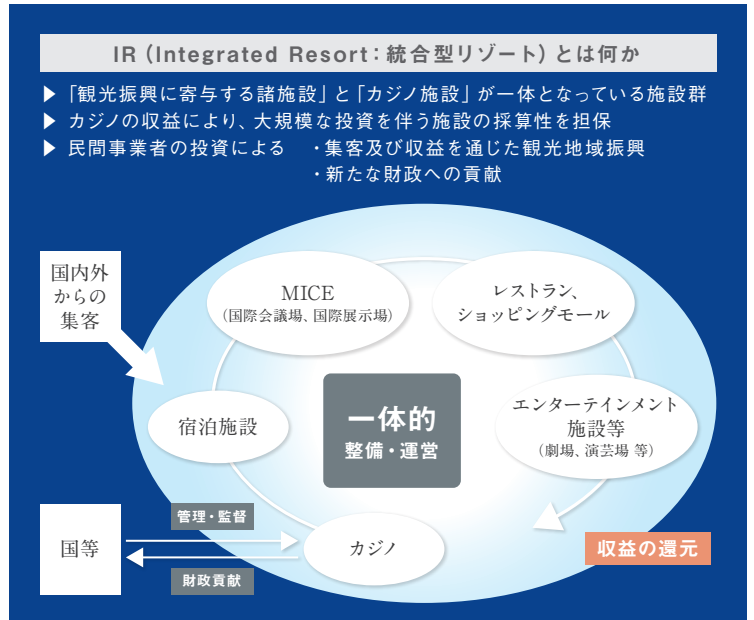
カジノ管理委員会は、厳格なカジノ規制を確実に執行し、適切な国の監視及び管理の下でIRを支えるカジノ事業の健全な運営を確保し、国民のカジノ行政に対する信頼に応えることを使命としています。

■日本型IR

特定複合観光施設区域整備法（平成30年法律第80号。IR整備法）の目的は、適切な国の監視及び管理の下で運営される健全なカジノ事業の収益を活用して、IR（Integrated Resort：統合型リゾート）区域の整備を推進することにより、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現することにあります。

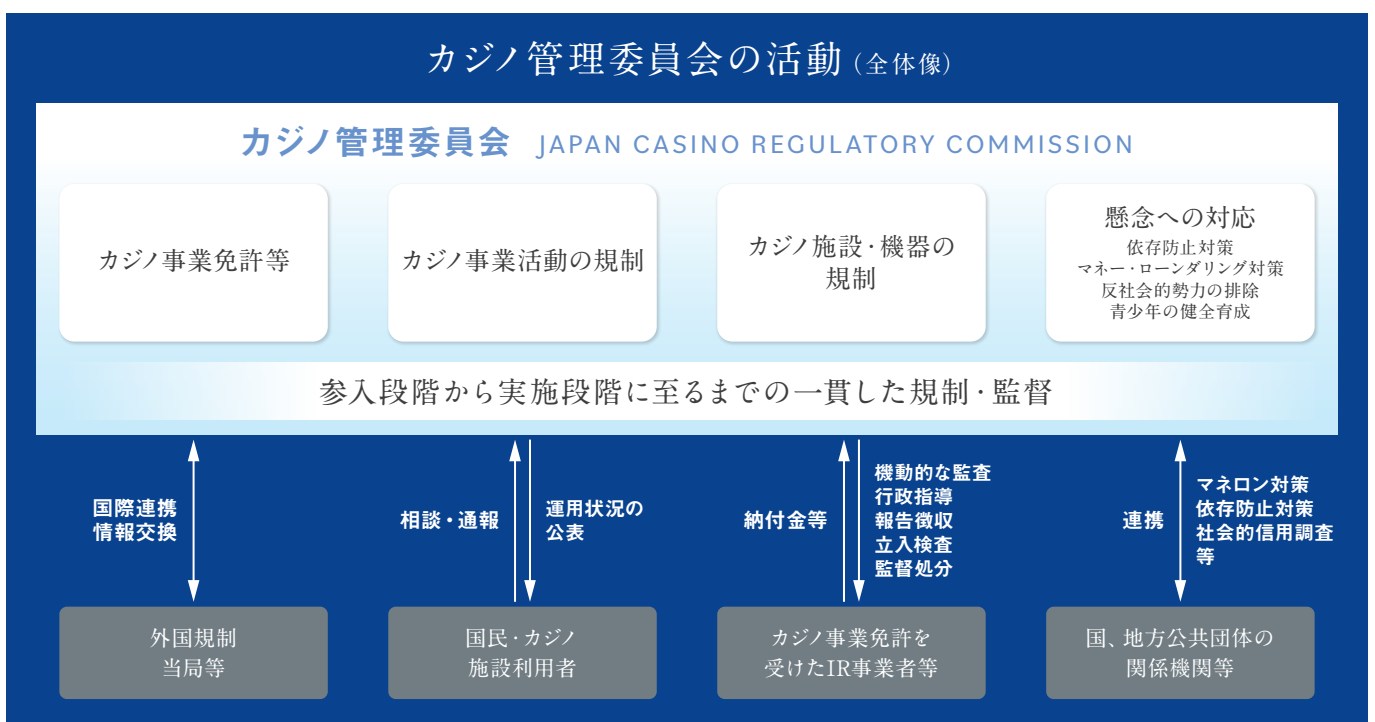
このように、MICE（国際会議場、国際展示場）や宿泊施設、エンターテインメント施設等の集客施設にカジノ施設を加えた統合型リゾート施設を一体として、その設置・運営等を法制度の中に位置付けるのは世界初の取組となります。

日本型IRにおいては、民間事業者が、これらの集客施設及びカジノ施設を民間事業者ならではの創意工夫をいかして一体的に設置・運営します。「観光先進国」にふさわしい集客施設と、収益面の原動力となるカジノ施設を、法制度のうえで一体化することにより、滞在型観光の実現、地域経済の振興、財政の改善や、我が国の経済社会の更なる発展、国際プレゼンスの向上等の公共政策上の目標を達成する装置として構成されているところが日本型IRの独自性と先進性となります。カジノ施設の収益を集客施設に再投資し、世界規模の観光デスティネーションとしての魅力を更に高めていくことが日本型IRには期待されています。



■カジノ管理委員会の活動

カジノ管理委員会は、カジノ施設の設置及び運営に関する秩序の維持及び安全の確保を図るための独立性の高い行政委員会として、①カジノ規制の企画立案、②カジノ事業免許等に係る厳正な審査、③カジノ事業者等に対する監督、④カジノ関連機器等の技術面の監督、⑤依存防止対策、⑥外国規制当局との連携、国際対応といった業務を行います。



【企画課】 カジノ規制の企画立案／委員会運営・法令審査・情報システム開発等

## 安全で秩序あるカジノ事業の実現を目指し、 カジノ規制の法制度・システムの整備を進める司令塔。

企画課は、健全なカジノ事業の運営を実現するため、カジノ規制の制度・システムの整備を進める司令塔として、カジノ事業者や関係省庁・自治体と、カジノ管理委員会を結ぶ橋渡しの役割を担っています。例えば、国内外の情報等を踏まえて検討すべき論点を整理し、法令整備等を通じて厳格なカジノ規制に携わったり、情報システムの整備によって、来場客のカジノ施設への入場回数確認やカジノ事業に係る監督業務などを安全かつ効率的に行うための基盤・インフラの構築やセキュリティの確保を行ったりしています。

また、委員長を含めた5人の委員から構成されるカジノ管理委員会を運営する業務も担当しており、我が国のカジノ政策の方針決定を支えています。その一環として、海外規制当局との連携強化や、ギャンブル依存症に関する知見獲得を目的として、委員の出張を企画することもあります。



木村 伊織  
Kimura Iori

企画課 係長

【企画課 国際室】 海外規制当局との連携／国際協力・海外規制当局との連携等

## カジノ規制における世界的動向把握と 国際連携を担う対外関係窓口。



佐野 瑞樹  
Sano Mizuki

国際室 係員

カジノ管理委員会は、これまで我が国に存在しなかったカジノ事業の監督という行政分野を担っています。カジノ事業者の多くはグローバルに事業展開を行っており、効果的・効率的な規制行政を行う上では、海外の規制当局との緊密な連携が不可欠です。このため、カジノ管理委員会では国際室を中心に、海外の規制当局と更なる関係強化を図ることで、厳格かつ効果的なカジノ規制に取り組んでいます。更なる信頼・協力関係強化のためにはハイレベルの意見交換も重要であり、各国カジノ規制当局トップとの意見交換も実施しています。

また、カジノ規制に係る最新の世界的な潮流やベストプラクティスを緊密にフォローすることも重要です。世界各地で開催される国際会議への参加等を通じ、最新情勢をフォローし、わが国の規制に役立てています。

【依存対策課】 依存防止対策／依存防止政策・措置の企画立案等

## 重層的・多段階的な依存防止対策を実施し、 依存症から守る使命と責任を担う。

皆さんは「依存症」と聞いて、どんなイメージが浮かびますか。実は、誰もがなり得る病気であり、カジノについても、入場者が極端にのめり込まないよう、重層的・多段階的な依存防止対策に取り組むことが求められます。

依存対策課は、カジノによるギャンブル等依存症から人々を守るために、依存防止対策を検討・立案する役割を担っています。具体的には、①カジノゲームに触れる機会の限定、②誘客時の規制（広告勧誘の制限等）、③厳格な入場管理（入場回数制限等）、④カジノ施設内での規制、⑤相談・治療につなげる取組（本人・家族等の申出による利用制限措置等）等の対策を進めています。

依存防止対策の検討に当たっては、国内外の最新の事例や調査研究の情報収集をはじめ、関係省庁・海外規制当局との情報交換や医療関係者による研修等を通じ、現場や関係者の声の把握に努めています。



村山 麗以菜  
Murayama Reina

依存対策課 係長

【規制監督課】 カジノ事業の免許審査／各種規制・監督の実施

## 免許制度等の厳格な規制と審査、監督により、健全なカジノ運営を確保する。

規制監督課は、カジノ事業の免許の審査、監督等に関する業務を担当しています。

●免許審査・監督

高度な廉潔性と健全な事業運営を確保するため、カジノ事業者自身に加えてその役員や主要な株主、IR施設の土地の権利者といった関係者も含め、様々な観点から厳格な免許審査・監督を行います。

●カジノ業務等に関する各種規制の実施

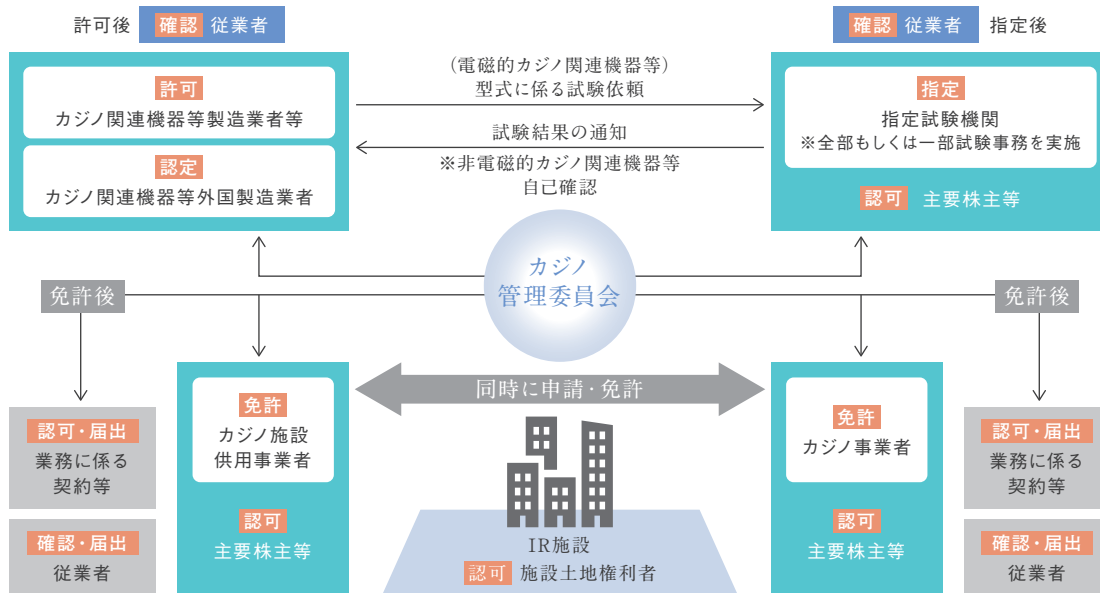
カジノ事業の健全な運営のために、各種規制が設けられています。具体的には、カジノ施設で行われるゲームの種類や方法、カジノ施設の構造・設備、20歳未満の者や暴力団員等にカジノ施設を利用させないための入場管理、スロットマシン等のカジノで使用される機器、カジノにおけるマネー・ローndリング対策等、多岐にわたる分野について様々なルールが定められており、これらに基づき、厳格な審査・監督を行います。



加藤 翔太  
Kato Shota

規制監督課 係員

【カジノ事業に関する許認可制度の概要】



【規制監督課 機器技術監督室】 機器技術監督／関連機器等製造業等の審査・監督等

## カジノ関連機器等に関する厳正な審査・監督により、公正で健全なゲームの実施を技術面から確保する。

カジノで使用されるスロットマシン、テーブルゲーム用のチップ、トランプ等のカジノ関連機器の品質や性能は、カジノ事業の健全な運営に影響を及ぼすものです。このため、その品質や性能を確保し、不正な機器の流通を防止する観点等から、機器の技術規格等が定められているほか、カジノ事業者に対して当該技術規格等に適合した機器の使用を義務付けるなどの各種規制が設けられています。また、カジノ関連機器の製造・販売等を行う事業者には、当該機器の厳格な管理体制や高い廉潔性等の確保を求めるべく、これらの事業を許可制とするなどの参入規制も設けられています。

機器技術監督室では、これらのカジノ関連機器の製造から廃棄に至るまでの様々な規制に基づき、公正で健全なゲームが実施されるよう審査・監督を厳正に行います。



樋田 雄士  
Toida Yuji

機器技術監督室 係長

【規制監督課 犯罪収益移転防止対策室】 犯罪収益移転防止対策／犯罪による収益の移転防止

## 事業の実態に即した厳格な規制を通じて、マネー・ローンダリングを防止する。

マネー・ローンダリング（マネロン）とは、一般に、犯罪によって得た収益をその出所や真の所有者が分からないようにして、捜査機関による収益の発見や検挙を逃れようとする行為をいいます。マネロンの防止は、国際的な政府間会合（FATF）においても取組が求められており、我が国では、国際的な協調も図りつつ、カジノに係るマネロン対策として、カジノ口座開設や30万円超のチップ交付等の取引を本人確認が必要な取引に追加するとともに、チップの譲渡禁止、100万円超の現金取引の当局への届出等の規制を整備してきました。

犯罪収益移転防止対策室では、国際情勢を踏まえつつ、関係省庁や海外の規制当局等と連携の上、マネロン規制の実効性を確保するため、厳格な審査・監督に取り組んでいます。



草川 哲  
Kusakawa Satoru

犯罪収益移転防止対策室 係員

【調査課】 社会的信用の調査／調査業務の計画立案及び実際の調査

## 国際的ネットワークを活用して徹底した調査を行い、カジノ事業の廉潔性を確保する。



平山 拓人  
Hirayama Takuto

調査課 係長

調査課の役割は、カジノに関わる法人・個人について、国内外を問わずバックグラウンドを徹底的に調査し、犯罪組織とのつながりがないかなどを確認しつつ、十分な社会的信用の有無を判断することです。

これまで日本ではカジノが禁止されてきたため、免許審査や規制監督に関する知見やノウハウは、経験豊富な海外規制当局から学ぶ必要があります。バックグラウンド調査に関する情報収集や意見交換を行うために、米国を始めとする海外の規制当局と幅広いネットワークを構築して、密接にコミュニケーションを取っています。

海外規制当局から調査手法などに関する様々なアドバイスを得つつ、日本の犯罪捜査や税務調査のプロたちが有する能力を最大限活かした調査を実現する。それが私の任務です！



ネバダ州にてUNLV研修受講

【財務監督課】 財務監督／国庫納付金等の徴収

## カジノ事業者の財務の健全性を確保する財務会計や内部統制の専門家。

財務監督課は、カジノ事業者等の監督事務のうち財務に関する事務や国庫納付金等の徴収に関する事務を担当しています。

### ●財務の健全性を確保

カジノ事業等の安定的・継続的な運営のためには、財務の健全性が重要です。財務会計等に関する専門知識を活用して財務諸表等を読み解き、事業者の財産的基礎やカジノ事業に係る収支の見込みを審査するほか、免許付与後も、毎年の監査等を通じてモニタリングを行います。

### ●国庫納付金等の適正な納付を確保

カジノ事業者はカジノ行為粗収益（顧客の賭金の総額から、顧客に勝金として支払った額を引いたもの等）の30%を国庫納付金等として納付することとされており、それらの相当額は観光や地域経済、文化芸術の振興等に活用されます。内部統制に関する知識も活用し、国庫納付金等の適正な納付が行われるようカジノ行為粗収益の集計手続を認可することも、財務監督課の役割です。



大迫 優斗  
Osako Yuto

財務監督課 係長

# 先輩職員からのメッセージ

調査課 係長

林 慶一 (R5年度入庁)  
Hayashi Keiichi



カジノ管理委員会  
Japan Casino Regulatory Commission

2023.4 採用一般職 (係長級選考)  
監督調査部調査課  
調査第四係長 (現職)

## ①カジノ管理委員会を志望した理由は何ですか

私はもともと、政令指定都市の地方公務員として、スポーツ振興や感染症対策、選挙事務等様々な事務を担当していました。地域社会の発展に貢献するやりがいを感じる一方で、国家規模での事業や政策形成に携わりたいという思いが強まり、国家公務員を志望しました。報道等でIRやカジノ施設が国内に導入される計画を知り、観光資源として経済的な可能性に満ちたIRに携わる仕事に魅力を感じたことも、志望理由の一つです。IRは日本で初めて取り組む事業であり、誰も経験したことがない未知の分野です。この挑戦的な環境の中で、カジノ事業の公正かつ健全な運営を実現する仕組み作りに貢献したいと考えました。

IRは日本で初めて取り組む事業であり、誰も経験したことがない未知の分野です。この挑戦的な環境の中で、カジノ事業の公正かつ健全な運営を実現する仕組み作りに貢献したいと考えました。

## ②現在どのような仕事をしていますか

私が所属する調査課は、カジノ事業者からの免許申請を受けた際に、当該事業者がカ

ジノ事業を適切かつ健全に運営できるかを厳格に調査する部署です。

私は、海外規制当局とのネットワークの構築と免許申請時に必要な情報の収集方法といったノウハウを得るため、米国のカジノ規制当局へ海外出張し、意見交換を行ってきました。

現在は、社会的信用調査の実施手順を確認し、当該調査の精度を高めるための基盤整備に取り組んでいます。



MI州のMinzey課長と

## ③仕事をする上で心がけていることは何ですか

カジノ管理委員会には様々な省庁からの出向者がいるため、多様な経験や視点を持つ職員と協力しながら仕事を進める必要があります。

様々な課題に直面することもあります。根気強く対応することを心がけ、職員同士の積極的なコミュニケーションを大切にしています。

## ④仕事における今後の目標を教えてください

私の今後の目標は、カジノ事業の規制・監督という重要な役割を通じて、日本初のIR事業を社会に定着させる基盤を築くことです。まだ、国内では誰も経験したことがない分野で今後も様々な課題に直面すると思いますが、多様なバックグラウンドを持つ同僚と協力しながら最適な解決策を模索し、粘り強く課題に取り組むと考えています。

## ⑤カジノ管理委員会志望者へのメッセージをお願いします

カジノ管理委員会では、日本で初めてのIR事業を支える国家規模の一大プロジェクトに携わることができます。

前例のない課題に取り組みながら社会に貢献する経験は、他では得られない貴重なものになるはずです。

この挑戦的で意義深い仕事に誇りを持ちながら、共に未来を切り開きたいという熱意のある方にはピッタリの職場です。



財務監督課 課長補佐

石山 佳嗣 (R元年度入庁)  
Ishiyama Yoshitsugu

- 2002.4 採用一般職（北海道財務局理財部理財課）
- 2006.7 財務省理財局地方指導調整係
- 2010.7 財政投融资総括課経理第二係長
- 2014.7 北海道財務局理財部主計実地監査官
- 2017.7 内閣官房特定複合観光施設区域整備推進本部事務局員
- 2018.8 大臣官房カジノ管理委員会設立準備室主査
- 2020.1 カジノ管理委員会事務局総務企画部総務課予算・契約係長
- 2021.4 監督調査部財務監督課課長補佐（現職）



## ①カジノ管理委員会の魅力は何ですか

カジノ管理委員会は、カジノへの厳格な規制により健全な運営を確保することで、国民の信頼に応えることを組織理念としています。国民の信頼に応えるためには、カジノ免許審査、カジノ規制が確実に運用されていく必要があります。

カジノ管理委員会は、発足から5年を経過したところですが、まだまだ新しい組織のため、様々な省庁から出向者がきており、多彩な人材がそろっています。カジノ管理委員会に採用された場合は、出向者の方々から多くの刺激を受け、成長することができるはずです。

また、英語研修や UNLV（ラスベガス）での実務研修などの研修制度も充実しており、今年度は初めて海外留学生を送り出すなど、組織として人材育成に力を入れている点も魅力だと思います。

## ②現在どのような仕事をしていますか

財務監督課において、カジノ事業免許の財務面の審査を担当しています。これまでに、審査基準、審査のガイドラインを定められました。

現在は、今後どのように審査していくのかを検討しているところです。具体的には、海外カジノ事業者の財務状況データを収集し、それらの比較分析や区域整備計画をもとにしたシミュレーションを行っているほか、海外の規制当局においてどのように審査を行っているか調べたり、海外の規制当局を訪問し、ヒアリングなどを行ったりしています。

## ③やりがいを感じるのとはどんなときですか

私は発足時から在籍しているので、組織や様々な運用規定がどんどん形作られていく過程に携わっており、子供の成長を感じるのと同様の嬉しさを感じています。

また、業務においては、自分の考えが反映された運用方法が、後世に引き継がれていくことになるため、非常にやりがいのあることをしていると感じています。

このような経験は、新しく発足した組織ならではの経験だと思います。

## ④仕事を通じて成長したと感じるのはどんなときですか

カジノ管理委員会ではこれまでの経験が活かせる部分もありますが、前例のない分

野であるため、新たに勉強が必要となることが多くあります。

新たに勉強することが大変ではありますが、身近にはカジノ管理委員会を採用された方や出向者の方がおり、力を合わせて案件を進めていくことは、自身の成長につながっていると思います。

例えば、許認可行政、監督行政を的確に遂行していくために必要となる、財務会計、内部統制の知見やリーガルマインドが身につきます。

また、海外出張の機会、英語研修の受講を通じて、英語力が（少しですが）身につけてきました。

現在は、財務会計の知見を深めるため、簿記一級の研修にも挑戦しています。

## ⑤カジノ管理委員会志望者へのメッセージをお願いします

カジノ管理委員会では様々な省庁から多種多様なバックグラウンドを持った職員が参画しており、非常に幅広い人材が多く在籍しています。各職員が様々な経験を活かし活躍している職場です。

こういった恵まれた環境で仕事ができ、大きく成長できる職場はほかにはないと思います。是非一緒に成長し、カジノという前例のない分野でがんばってみませんか。

規制監督課 係員

南 龍之介 (R4年度入庁)

Minami Ryunosuke



## 現在の仕事内容

カジノ行為（いわゆるカジノゲーム）とカジノ施設の構造設備を担当しています。

カジノ行為では、カジノ事業者が実施する各種のゲームが適切な手順で実施されているかの確認や諸外国のカジノでの実施状況の調査をしています。

構造設備では、カジノ施設が法令上の基準に適合しているかを図面等で確認します。実際にカジノ施設が完成したら、現地での検査も実施します。

どちらも日本では前例のない業務であり、一筋縄ではいかないものばかりですが、諸外国や他法令を参考にしながら業務を進めていくのは非常にやりがいがあります。



## 休日の過ごし方

旅行に出かけたりする日もあれば、家でゆっくりする日もあります。休暇も取りやすいため、休日の前後に合わせることで充実した日々を過ごすことができます。写真は旅行先で陶芸をしたときのものです。

## 出勤から退庁までの1日のタイムスケジュールと、スケジュールごとの業務の内容



### 9:00 出勤

出勤後、メールを確認します。日によってはテレワークやフレックスタイム制を活用します。



### 9:30 問合せ対応

問合せがあった事項の対応をします。担当が複数にまたがる場合には、連携を取りながら進めていきます。



### 10:30 諸外国の事例検索

制度の具体的な運用方法の検討に当たって、諸外国の基準や制度の実態を調べます。諸外国の法律を理解するのは難しいですが、翻訳ツールを活用しつつ、情報を収集します。



### 12:00 昼休み

オフィスの周辺には多くのお店があるので、外に食へに行くことが多いです。



### 13:00 打合せ

同僚や上司、場合によっては外部の有識者と打合せを行います。打合せを踏まえて、資料の修正や議事録の作成をします。



### 15:00 出張準備

海外に出張し、現地の規制当局や事業者からヒアリングをしたり、カジノ施設を視察したりすることもあります。海外ということで準備は大変ですが、より細かい内容について聞くことができたり、カジノの構造を自身の目で見ることができたりするのは大変貴重な経験です。



### 17:45 退勤

出張の前後は残業をする日もありますが、基本的には、定時に退庁をしています。

カジノ管理委員会の2025年度採用予定者に内定に至る道のりについて聞きました。

## Q1

就活中のおすすめリフレッシュ方法について教えてください。



好きなアイドルの練習風景の動画を見るとリフレッシュできます。アイドルたちが頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうという気持ちになっていました。



1人で考えてばかりだと疲れてしまうので友達と話して気分転換をしていました。



おすすめのリフレッシュ方法は、体を動かすことです。大学の部活動に所属していたので、部の練習に参加したり、休日にバッティングセンターに行ったりしていました。



趣味が邦ロックのライブに行くことなのでライブで思いっきりはしゃぐ事で発散していました。



運動系のサークルに所属していたので時々参加してリフレッシュしていました。



定期的に友人と食事に行っていました。翌日以降のモチベーションアップにつながっていたと感じています。

## Q2

就職先としてカジノ管理委員会を選んだ決め手を教えてください。



前例のない行政分野にチャレンジできることです。カジノ監督行政はカジノ管理委員会で行っていない仕事なのでその道の専門家になりたいと強く思いました。



日本には前例のない大きな政策の一翼を担っていきたいという思いが決め手となりました。



研修制度が充実しており、自分の力を成長させることができる環境であることが決め手の一つです。



日本にまだないカジノを規制する唯一の職員になれるところに惹かれ、私もその一員になりたいと思い決めました。

## Q3

説明会や官庁訪問を通して職員にどのようなイメージを持ちましたか。



初めは規制監督分野の省庁なので固いイメージがありました。しかし私たちの話を優しく聞いてくださったり、職員同士協力しながら働いていたのを見て、働きやすそうな環境だと感じました。



他省庁から出向された方や民間から転職された方など様々な経歴や価値観を持った方々が、互いの強みを共有して、それを活かして働かれているイメージを持ちました。



第一印象は明るい職場だと感じました。1人1人がお互いを尊重しつつ和気あいあいと仕事をしており、コミュニケーションを取りながら、しっかりと仕事をしていると感じました。

## Q4

官庁訪問にあたり心がけた点があれば教えてください。



気持ちの面になりますが、緊張しすぎないことを心がけました。緊張すると自分が今までやってきたことを十分に発揮できないため、気持ちを楽しんで臨むことができれば自分の思いを伝えやすくなると思います。



官庁訪問先の特徴を確認することや自己分析も大切ではありますが、それ以上に一緒に働きたいと思ってもらえるようなコミュニケーションをとることを心掛けました。



自分の良いところをしっかりとアピールしつつ、貴重な機会なので官庁訪問を通して自分自身が成長できるような面談を心がけました。

## Q5

カジノ管理委員会を目指す方にメッセージをお願いします。



一次試験直前や官庁訪問直前は気分が落ち込むかもしれませんが、自分が今までやってきたことを信じて頑張ってください！



カジノ管理委員会で働きたいという強い気持ちがあればきっと大丈夫です。



公務員として社会に貢献する使命感と、新しい取り組みに挑戦したいという気概を持つ方は、ぜひカジノ管理委員会と共に働きましょう。



カジノ管理委員会は新しく始まるカジノ行政の根幹に関わる唯一の省庁です。0から始めることに興味がある方はぜひ目指してみてくださいはいかがでしょうか？



就活は色々大変だと思いますが頑張ってください！応援しています！！



総務課  
河野 紘己 係員  
Kono Hiroki



総務課  
岡野 怜奈 係員  
Okano Reina

## 若手職員アンケート

### Q1 カジノ管理委員会を志望した理由は？

- 新しい行政分野に携われることに魅力を感じたからです。
- 「カジノ事業」が適切に行われるようにするための組織、ということからIRという国の大きな施策を下支えする立場であることに魅力を感じたのが理由です。
- プロパー職員（カジノ管理委員会で採用された職員）として、カジノ管理委員会の歴史づくりに携われる点に魅力を感じました。本府省のみであり、地方への転勤がないところも決め手でした。
- 官庁訪問の際の雰囲気がとても良かったからです。
- 歴史が浅い組織ということで、自分たちが考えた規制が歴史に刻まれるということに魅力を感じました。カジノという横文字がかっこよかったのも理由の一つです。
- 新しいことに挑戦したかったからです。
- 日本にまだ存在しないIRを監督するという特殊性に惹かれたからです。
- IR開業前の準備段階に携わることができ、貴重な経験ができると考えたからです。
- 日本において全く新しい行政分野であるカジノ規制に携わることができ、前例のない仕事ができると思ったからです。

### Q2 仕事のやりがいは？

- 問い合わせ対応のときに、業務経験や身につけた知識を活かして説明できた際には達成感があります。
- 若手であるにも関わらず、様々な議論に参加できること。また、組織が新しいことから、組織として初めて行う業務、というのに携われるのは他省庁ではあまりない体験であり、非常にやりがいを感じます。
- 海外出張なども多く、成長の機会が多いことです。
- 採用説明会等でカジノ管理委員会の業務説明を行う際、うなずきながら熱心に聞いてくれる参加者を見るとやりがいを感じます。
- 各課との調整業務がうまくいったとき。作成した資料が役に立ったときです。
- 毎日新しい知識を得ることができることです。
- 自分の得た知識が業務に直結することです。
- スピード感が求められる際に1つ1つの案件に責任感を持ち、効率的に対処できたこと。組織として案件を終えた際に非常にやりがいを感じます。
- 目標に向けてチームで役割を果たし、達成できたことです。



企画課  
入木田 洋海 係員  
Irikida Hiroumi



総務課  
山本 達也 係員  
Yamamoto Tatsuya



財務監督課  
片山 達斗 係員  
Katayama Tatsuto



総務課  
谷内 星音 係員  
Yanai Shion

一般職試験で採用された若手職員にアンケートを行いました。

## Questionnaire

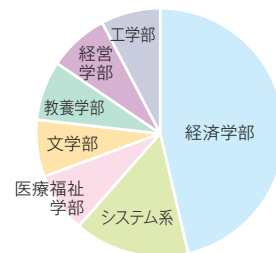
### Q3 採用前と採用後のギャップは？

- フレックスタイム制やテレワーク等を活用して、想像以上に柔軟な働き方ができる点に驚きました。
- 良い意味でギャップがありました。非常に明るくコミュニケーションの取れる職場であり、若手の意見も取り入れてもらえる環境で驚きました。
- テレワークやフレックスタイム制などが充実しており、柔軟な働き方ができることです。
- 思っていた以上にプロパー職員は貴重な体験ができる機会に恵まれていることです（日々の業務もそうですが、出張、英語研修など）。
- 働き方が柔軟であること。テレワークやフレックスタイム制などの制度を活用している職員が多いです。
- 採用前は厳しい上司が多いと思っていたが、実際は優しい上司が多く働きやすいと感じます。
- 特にギャップはありませんでした。英語などの研修が豊富に実施されているため、自己研鑽出来る環境だなと感じました。
- 幹部職員との距離が近いことに驚きました。

### Q4 職場の雰囲気は？

- プロパーの若手職員を、何かと気にかけてもらえる温かい雰囲気だと思います。
- 和気あいあいとしていると思います。自分の所属している部署の先輩・上司だけではなく、他部署の先輩方から話しかけてもらう機会も多く、仕事をする上でも質問をしやすい環境です。
- 各省庁から専門家が多く集まっており、議論が活発な印象です。
- 上司は優しく、質問には真摯に対応してくれます。
- 若手でも意見を言いやすく、新しいことに挑戦しやすい雰囲気があると思います。
- フレックスタイム制や休暇制度が使いやすく、非常に働きやすいです。テレワークや時間休を活用している職員が多くいるので、柔軟に働ける職場だと感じます。
- ファミリー感あふれる温かい職場です。

### Q5 学生時代の学部・専攻は？



監督総括課  
及川 美優 係員  
Oikawa Miyu



財務監督課  
田嶋 大揮 係員  
Tajima Taiki

規制監督課 係員

澄 直斗 (R4年度入庁)

Sumi Naoto

①長期出張(留学)先で学んでいることや1日の生活について

留学先では、カジノマネジメントのクラスと留学生向けの英語のクラスを受講しています。カジノマネジメントの授業ではカジノ内での各種オペレーションやネバダ州におけるカジノの歴史等について学び、英語のクラスでは英語が第二言語の学生が語学向上のために学んでいます。



1日のスケジュール	
午前	英語の授業
昼	留学生と食堂でランチ
午後	カジノマネジメントについての授業
授業後	図書館で勉強

②休日の過ごし方について

週末はナショナルパークへ出かけてリフレッシュをしたりします。また、私が通う大学のスポーツチームの観戦に留学先でできた友人と一緒に行くこともあります。多くの学生やサポーターが集まるので熱気が凄いです。ただ、試験前などは課題や試験勉強に追われているので図書館に籠っています。

ラスベガスの周辺にはグランドキャニオンやレッドロックキャニオンなど、多くの自然の観光スポットがあり、アメリカならではの風景を楽しむことができます。



③留学の意義等について感じていること

ゲーミング業界での経験が豊富な教授による講義で得られる知識は規制当局の職員にとっては非常に重要で、ラスベガスというカジノ都市へ留学したからこそ学べるものだと思います。また海外留学をすること自体については、言語から文化まで全てが異なる場所で生活をする中で、自分の中での価値観等が日々更新されるような刺激的な毎日を送ることができ、自身を大きく成長させてくれるものだと感じています。

④官庁訪問を行う学生へのメッセージ

説明会等への参加を通じてその省庁の業務に関する知識を深め、自分がそこでどういう仕事をしたいのかを具体化して官庁訪問へ臨むと良いと思います。カジノ管理委員会では、カジノ規制という新しいことに挑戦してみたい方や、海外関係の業務に興味がある方をお待ちしております。官庁訪問大変だと思いますが応援しています!

研修制度

Training Program

人事院や他府省等が主催する各種研修のほか、カジノ管理委員会が独自に実施する研修制度があります。

新規採用者研修

国家公務員として必要な心構えやカジノ管理委員会での業務に必要な基礎知識を身につけるため、組織の業務内容や国家公務員としての倫理及びサービスを学びます。また、外部の講師を招き、職場で活用できるコミュニケーションスキルを習得するプログラムを設けております。

英語研修

カジノ行政の推進には、先行する海外の知見や、海外当局との意見交換が不可欠なことから、職員の英語力を高めるため、週に1度ネイティブの講師を招き研修を実施しています。講座は少人数かつ習熟度別にクラスを分け、初心者からでも安心して参加できる内容になっています。

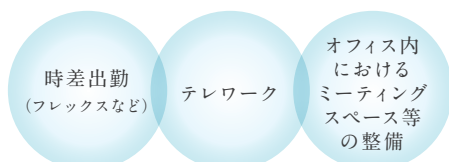


ワークライフバランス

Worklife Balance

カジノ管理委員会では、ワークライフバランスを推進しており、様々な取り組みを進めております。

>働き方改革の取組み



年次休暇平均取得日数(令和5年度) 17.5日

>仕事と育児の両立を図るための主な支援制度



職員の育児休業取得率(令和5年度) 100%

など

## 採用担当メッセージ

我々は、これまで我が国に存在しなかったカジノ事業の監督という新しい行政分野に日々取り組んでいます。

このパンフレットで紹介したように、カジノ規制の内容は多岐にわたっています。そのため、各府省等の枠組みを超えて様々な分野から多様な人材が集い、議論を重ねながら、前例のない行政分野を創り上げているところです。

我々は、新しい行政分野を共に創っていくという気概のある方にこの組織の中核を担ってほしいと考えております。そして、カジノ行政に対する国民の信頼を確保するという使命を果たすため、規律と廉潔性を保ち公正かつ誠実に職務を遂行する志のある方と一緒に働けることを願ってやみません。

新たな行政分野を創り上げるという意欲あふれる皆さんをお待ちしています。

君のエネルギーが、  
未来を動かす。

## [ 組織概要 ]

- 所管業務 / カジノ事業の監督
- 設立 / 令和2年1月7日
- 職員数 / 167人 (令和6年度末定員)
- 給与 / 一般職 (大卒程度) 初任給例: 264,000円
- 勤務時間 / 1日7時間45分勤務
- 昇給 / 年1回 賞与 / 年2回 (6月・12月)
- 休日休暇 / 週休2日制、祝日、年次休暇、病気休暇、特別休暇 (夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇及び介護時間 等
- 保険 / 内閣共済組合

## [ 問い合わせ先 ]

TEL: 03-6453-0201 (代)

事務局 総務企画部総務課 採用担当  
〒105-6090 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー12・13階

## ■ アクセス

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅 神谷町MTビル出口より徒歩約3分  
東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅 泉ガーデン出口より徒歩約5分





カジノ管理委員会  
採用ページ

[https://www.jcrc.go.jp/  
about/recruit/index.html](https://www.jcrc.go.jp/about/recruit/index.html)



カジノ管理委員会  
ホームページ

<https://www.jcrc.go.jp>